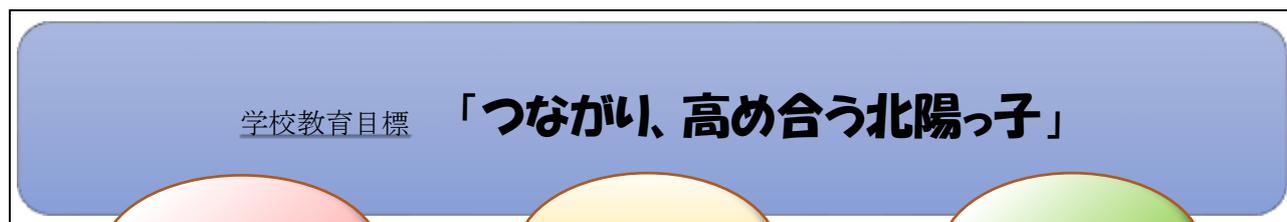


3. めざす児童像にせまるための取組



知恵を出し合い、高まる子 (学習指導部)	前向きな子 (生徒指導部)	きびきび動く子 (特別活動部)
考えることを楽しむ子 「伝えたい・聴きたい」思いにあふれる子	自分からできる子 優しくかかわる子	めあてをもって動ける子 心も体も元気な子
<p>○考えることを楽しむ子</p> <p>授業を焦点化 (シンプルに)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールを明確にした授業づくり ・考える必要性のある課題設定 ・学習形態の工夫 ・発言や思考をつなぐ教師の発問・働きかけ <p>授業を視覚化 (ビジュアルに)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造的な板書 ・資料・情報機器の利用 (ICTの活用) <p>○「伝えたい・聴きたい」思いにあふれる子</p> <p>授業の共有化 (シェア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識した話し方・聴き方 ・思考の広がり、深まりが生まれる学び合い 	<p>○自分からできる子</p> <p>自己決定の場を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが選択・決定する教師の指導・支援 ・学校生活における模範的な児童のモデル化 <p>自己存在感を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成功体験や失敗体験を大切にされた教師の指導・支援 ・やりきらせ、達成感をもたせる場の設定 <p>○優しくかかわる子</p> <p>共感的人間関係の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・学年における話し合い活動の重視 (学級・学年経営の重視) ・生活目標の取組における温かな人間関係の構築 	<p>○めあてをもって動ける子 ＜特別活動・運動＞</p> <p>認める指導を常に意識する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の意図やめあての明確化 ・良い姿を評価、共有 ・行事はクラス・学年・全体を認める場に活かす ・「㊦できた⇔㊧認める」を目指すPDCAの反復 <p>モデルの可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本、児童の良い姿を掲示する (姿勢、表情、働き 委員会・クラブ活動を活用) <p>○心も体も元気な子＜健康＞</p> <p>正しい生活習慣の意識付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康観察の時間を活用 「さわやかチェック」毎週火曜日 (早寝早起き朝ごはん・ハンカチ・ティッシュ) ・学期ごとの健康食育指導の継続 ・継続的な食育指導 (マナー指導、感謝「いただきます」「ごちそうさま」)